

アスベスト部分隔離工法「ふうじろう(耐震補強)」

概要

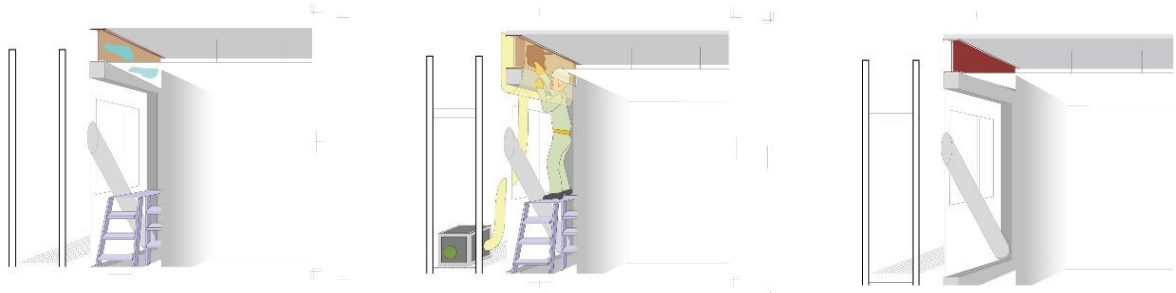
鉄骨造の建物で耐震補強工事を行う場合、事前に鉄骨に吹付けられた対赤被覆材を取り除く必要があります。その被覆材が昭和の時代に建てられた建物の場合、アスベストである可能性が非常に高いです。そのアスベストを除去する場合、通常は同じ空間を有している執務スペースを一時閉鎖し、アスベストを除去する必要がありました。

ふうじろう耐震補強では、セキュリティールーム・エアシャワー等が不要な為、施工スペースが最小限に抑えられる利点があります。また、通常作業着と半面型マスクの装着のみで作業が行える為、周囲の方に余計な心配を与えません。



特徴

1. 利用を妨げない最小限のスペースでの施工
2. 夜間・週末での作業も可能
3. 日本建築センターの認証を受けた高い技術力
4. 作業員が汚染域に入らない安全な施工
5. 施設を汚染域に入れない安心の施工
6. 部分的な改修で済むため、コスト削減・工期短縮
7. 通常の作業形態での除去作業が可能で、風評被害の低減



・用途

1. 建物の耐震補強
2. 建物の改修工事
3. 建物の部分解体

実際の利用されている建物としては、

- ・新耐震基準移行前の建物
- ・耐震補強を検討している建物
- ・電気室・機械室改修

